

プログラム

9:00 開場（口頭発表者 8 人を優先受付）

9:25 開会の挨拶 例会長 森和俊 <百周年記念ホール、1 階>

口頭発表

ポスター番号

9:28	齊藤峻介	（京都大学大学院理学研究科生物物理学教室）	5 4
9:42	小野鈴花	（京都産業大学タンパク質動態研究所）	2 9
9:56	堀 翔悟	（長浜バイオ大学バイオサイエンス学部）	8 2
10:10	小池敏靖	（神戸薬科大学薬学部生化学研究室）	4 0
10:24	清水康平	（大阪公立大学大学院医学研究科医化学）	5 6
10:38	中辻匡俊	（大阪医薬大 薬 病態生化学）	1 0 1
10:52	林 大輝	（神戸大学大学院農学研究科生物化学研究分野）	1 4
11:06	山崎聖司	（大阪大学 高等共創研究院 細菌共存学研究分野）	8 9

11:20 休憩

11:30 特別講演 井垣達史先生 「細胞競合の分子機構」

12:30 昼食 <吉田南 1 号館、地下 1 階のみ>

13:15 ポスター掲示（全員） <国際交流ホール I・II、2 階>

13:30 ポスター発表（主として奇数番）

14:30 ポスター発表（主として偶数番）

15:30 ポスター撤去（全員）

15:50 近畿支部奨励賞受賞者 清水かほり先生（大阪大谷大学薬学部） 表彰と講演

特別シンポジウム「N型糖鎖研究の新展開」

16:15 蜷川 暁 先生（神戸大学）
「逆遺伝学と生化学による小胞体内 N型糖鎖関連酵素群の解析」

16:45 矢木 宏和 先生（名古屋市立大学）
「糖鎖構造を規定する分子メカニズム」

17:15 原田 陽一郎 先生（大阪国際がんセンター）
「小胞体における N型糖鎖修飾の可塑性とその意義」

17:45 優秀発表賞表彰

特別講演者 井垣 達吏先生



【略歴】

1993 年 岡山大学薬学部薬学科卒業
1995 年 岡山大学大学院薬学研究科修士課程修了
1995 年 キョーリン製薬株式会社中央研究所
2003 年 大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了
2003 年 Yale University School of Medicine・博士研究員（HFSP 長期フェロー）
2007 年 神戸大学大学院医学研究科・特命助教
2009 年 同・特命准教授
2012 年 同・准教授
2013 年 京都大学大学院生命科学研究科・教授
現在に至る

【主な受賞】

2014 年 日本学術振興会賞
2014 年 ナイスステップな研究者 2014
2017 年 SGH 特別賞
2018 年 JCA-Mauvernay Award
2019 年 井上学術賞
2020 年 大阪科学賞

□頭発表

神経変性疾患の原因となる無糖鎖型 Seipin に起因する小胞体ストレスと細胞死の誘導機構

齊藤 峻介¹、石川 時郎¹、蟻川 暁²、岡田 徹也¹、森 和俊¹
(¹ 京都大学大学院理学研究科生物物理学教室 ² 神戸大学バイオシグナル総合研究センター)

ATPase を介したミトコンドリア-ER 間における膜タンパク質の再配送機構

小野 鈴花^{1,2}、松本 俊介³、遠藤 斗志也^{1,2}
(¹ 京都産業大学生命科学部, ² 京都産業大学タンパク質動態研究所, ³ 九州大学大学院農学研究院)

侵害センサーTRPV1 の高温感受性を決定する四肢動物共通のメカニズム

堀 翔悟¹、立山 充博²、白井 剛¹、久保 義弘²、齊藤 修¹
(¹ 長浜バイオ大学バイオサイエンス, ² 生理学研究所 神経機能素子研究部門)

FAM20C 変異によるコンドロイチン硫酸の硫酸化構造変化が骨硬化症の発症に繋がる

小池敏靖¹、三上雅久¹、田村純一²、北川裕之¹
(¹ 神戸薬科大学薬学部生化学研究室, ² 鳥取大学農学部生命環境農学科)

新規 LUBAC 結合タンパク質によるネクロプトーシス制御機構

清水 康平¹、魏 民²、及川 大輔¹、Tran Thi Thuy Linh¹、小迫 英尊³、高橋 宏隆⁴、澤崎 達也⁴、
徳永 文稔¹
(¹ 大阪公立大・院医・医化学, ² 大阪公立大・院医・環境リスク評価学, ³ 徳島大・先端酵素研・
藤井節郎記念医科学センター, ⁴ 愛媛大・PROS)

肥満によるエストロゲン受容体陽性乳癌の Tamoxifen 耐性獲得機構の解明

中辻 匡俊¹、藤森 功¹
(¹ 大阪医薬大・薬・病態生化学)

Phospholipase A₂ の酸化リン脂質に対する基質特異性

林 大輝¹、Edward A. Dennis²、宇野知秀¹、金丸研吾¹
(¹ 神戸大学 大学院農学研究科, ² University of California San Diego, Department of Chemistry and
Biochemistry, Pharmacology)

耐性菌感染症の克服に向けた薬剤排出ポンプ阻害剤の結合部位解析

山崎聖司^{1,2,3}、古閑修輝²、Martijn Zwama³、櫻井啓介³、中島良介³、山口明人³、西野邦彦^{2,3,4}
(¹ 大阪大学 高等共創研究院, ² 大阪大学大学院 薬学研究科,
³ 大阪大学 産業科学研究所, ⁴ 大阪大学 感染症総合教育研究拠点)

ポスター発表

番号の前に●がついているポスターは優秀発表賞の選考対象です

1) タンパク質

●1

低分子量 G タンパク質 Rab7 のリン酸化を担うキナーゼの検討

藤坂さくら, 梶田美穂子, 白壁恭子
(立命館大学大学院生命科学研究科)

●2

金属結合能を持ったクロス α ヘリカルファイバーを形成するペプチドの設計

山澤千慧, 田村厚夫
(神戸大学大学院理学研究科)

●3

高効率 T7 ファージライブラリー作製法の開発

東克暁¹, 小田幸穂¹, 西田郁弥¹, 松本隼杜¹, 藤井麻衣¹, 森瀬譲二¹, 岡昌吾¹, 野中元裕¹
(¹京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 分子生命基礎医療科学)

●4

プロテオミクス法による小胞体タンパク質品質管理因子 UGGTs の基質探索

松尾 将生¹, 鄧 桜², 笛木 茜¹, 矢木 宏和³, 加藤 晃一^{3,4}, 今見 考志⁵, 森 和俊², 蛭川 暁^{1,6}
(¹神戸大学大学院農学研究科, ²京都大学大学院理学研究科, ³名古屋市立大学薬学研究科, ⁴自然科学研究機構 生命創生探求センター, ⁵国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター, ⁶神戸大学バイオシグナル総合研究センター)

●5

活性スイッチング制御が可能な配列特異的 RNA 脱メチル化酵素の創出

音成 兼光¹, 浅見 有璃¹, 二木 史朗¹, 今西 未来¹
(¹京都大学 化学研究所 生体機能設計化学領域)

6

アミロイド様線維を形成するジペプチドの構造解析

迫綾香, 齋藤真輝, 枝和男, 田村厚夫
(神戸大学大学院 理学研究科 化学専攻)

7

分子標的 HLH ペプチドを土台分子とする核内受容体阻害剤の創出

熊崎 健¹, 稲浦 峻亮², 田中 友菜¹, 脇田 真安希², 原島 小夜子³, 道上 雅孝¹, 藤原 大佑¹,
中瀬 生彦¹, 藤井 郁雄¹
(¹大阪公大院理, ²大阪府大院理, ³大阪公立大院農)

8

ペプチド転移酵素 Sortase A の Ca(II)配位部位での金属置換が酵素反応性及び二次構造に与える影響

水田安紀¹, 根木滋¹, 中川由佳², 羽森真美³
(¹同志社女子大薬, ²兵庫県立大理, ³北里大薬)

9

GSH 還元反応への生体内微量金属イオンの関与の可能性に対する構造的アプローチ

村上花楓¹, 小松由佳¹, 中川由佳², 羽森真美³, 根木滋¹
(¹同志社女子大学薬, ²兵庫県立大学理, ³北里大学薬)

10

単純なモデル系を用いた DNA コンパクション機構の解明に向けたアプローチ

辻 唯央¹, 薮田 恵¹, 山根 李奈¹, 羽森 真美², 中川 由佳³, 吉川研一⁴, 吉川裕子⁴, 根木 滋¹
(¹同志社女子大学薬, ²北里大学薬, ³京都大学化学研究所, ⁴同志社大学生命医科)

11

PARP1 タンパクの DNA 修復過程の QCM 法による定量的評価

佐藤有華¹, 細井咲良¹, 吉富英里佳¹, 古澤宏幸², 中川由佳³, 間下雅士¹, 根木滋¹
(¹同志社女子大薬, ²山形大院, ³京大化研)

生体内での選択的ジスルフィド交換反応制御における 2 つの Cys 残基間の距離の重要性

川人友里¹, 横関麻佑¹, 岸果苗², 中川由佳³, 羽森真美⁴, 根木滋¹
(¹同志社女子大薬、²広島大院医系科学、³兵庫県立大理、⁴北里大薬)

血清アミロイド A4 の細胞外分泌とタンパク質分解に及ぼす N 型糖鎖の影響

寶田 徹, 藤中 梨香子, 福森 結衣, 福田 正和, 田中 将史
(神戸薬科大学)

Phospholipase A₂ の酸化リン脂質に対する基質特異性

林 大輝¹, Edward A. Dennis², 宇野知秀¹, 金丸研吾¹
(¹神戸大学 大学院農学研究科, ²University of California San Diego, Department of Chemistry and Biochemistry, Pharmacology)

DNA 損傷誘発性の細胞老化に関連するタンパク質の探索

植原 美遊, 原 和花, 福田 伊津子, 白井 康仁, 上田 修司
(神戸大学大学院農学研究科)

2) 酵素・代謝

Group VIA phospholipase A₂ のフェロトキシ抑制効果に寄与する基質結合残基の同定

北村 幸昭¹, 篠原 正和², 芦田 均¹, 宇野 知秀¹, 金丸 研吾¹, 林 大輝¹
(¹神戸大学 大学院農学研究科, ²神戸大学 大学院医学研究科)

Substrate specificity of NAD(P)H-dependent succinic semialdehyde reductase from *Gluconobacter oxydans* 621H

Toma Rani Majumder¹, Riku Aono¹, Masao Inoue^{1,2}, Hiroyoshi Matsumura¹, Hisaaki Mihara¹
(¹Coll. Life Sci., Ritsumeikan Univ.; ²R-GIRO, Ritsumeikan Univ.)

●18

RNA 脱メチル化酵素 FTO に対する新規阻害剤：阻害機序と L-アスコルビン酸の関与

田中和無爲¹，二木史朗¹，今西未来¹
(¹ 京都大学化学研究所生体機能設計化学領域)

●19

GMP reductase 欠損による *Trypanosoma brucei* 内プリン核酸代謝異常の検出

田中睦海，峯村香澄，岡田哲也，乾 隆
(大阪公立大学大学院農学研究科生体高分子機能学研究室)

●20

Impaired Glucose Metabolism in Maple Syrup Urine Disease

Rio Yasui Watson¹, Futaba Kato¹, Ruochong Wang¹, Yiyang Dong¹, Ayuna Hattori¹, Takahiro Ito¹
¹ 京都大学大学院 薬学研究科 がん・幹細胞シグナル分野

●21

C1 資化性脱窒菌 *Hyphomicrobium denitrificans* のランタノイド金属取込機構に関する研究

足立梨乃，墨岳夫，野尻正樹
(大阪大学大学院理学研究科化学専攻 生物無機化学研究室)

2 2

Sphingobacterium multivorum 由来セリンパルミトイル転移酵素のアミノ酸基質認識機構

生城浩子¹，村上大毅²，高橋亜弥²，堅山あすか²，澤井大樹¹，後藤春菜¹，サジール クーラス³，
本田拓巳³，村井勇太^{3,4,5}，門出健次^{3,4}，宮原郁子²，神谷信夫⁶，矢野貴人¹
(¹ 大阪医薬大・医，² 大阪公立大院・理，³ 北大院・生命科学，⁴ 北大院・先端生命，
⁵ 北大院・農学研究，⁶ 大阪公立大・ReCAP)

3) 細胞の構造と機能

●23

F₀F₁-ATP 合成酵素によるミトコンドリアの新規制御機構

市川葵¹，丸山翔太¹，石原孝也¹，石原直忠¹
(¹ 大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻)

●24

膵がん細胞株 PSN1 において prohepoglobin は悪性形質を増強する

中山穂香¹, 林原歩武¹, 森下康一¹, 左近太佑¹, 松本夢雅¹, 高松真二¹, 近藤純平¹, 三善英知¹

(¹大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報科学講座 分子生化学)

●25

**繊毛トランジション・ゾーンの構成膜タンパク質 TMEM218 の変異に起因する
繊毛病の分子基盤**

藤居大樹¹, 加藤洋平¹, 中山和久¹

(¹京都大学大学院 薬学研究科 生体情報制御学分野)

●26

肺線維症急性増悪における炎症誘導機構の解析

林 薫子¹, 小池 敦資¹, 藤森 功¹

(¹大阪医薬大・院薬・病態生化学)

●27

**ゴルジ体ストレス応答のプロテオグリカン経路を制御する
転写因子 KLF2 と KLF4 の発現制御機構**

田中伶知, 三宅衣織奈, 坂本美憂, 田中隆也, 田中梓, 寺見美咲, 小森亮太, 谷口麻衣, 若林貞夫,
桜井一, 佐々木桂奈江, 吉田秀郎
(兵庫県立大学大学院理学研究科)

●28

核内構造体の形成および維持に関与するタンパク質の *in vitro* 解析

櫻井佑基, 萬年太郎, 吉澤拓也, 松村浩由, 早野俊哉
(立命館大学生命科学部)

29

ATPase を介したミトコンドリア-ER 間における膜タンパク質の再配送機構

小野 鈴花^{1,2}, 松本 俊介³, 遠藤 斗志也^{1,2}

(¹京都産業大学生命科学部, ²京都産業大学タンパク質動態研究所, ³九州大学大学院農学研究院)

プロテイン S と TAM 受容体を介した血管内皮細胞における血液脳関門保護機能

秋山 正志, Teena Bhakuni, 小亀 浩市
(国立循環器病研究センター・分子病態部)

近接依存性標識法による相分離構造体の機能解析

萬年太郎¹, 後藤雅人¹, 友近愛¹, 柳森美貴¹, 服部高明¹, YOO Hyebin¹, 丹羽達也², 早野俊哉¹
(¹立命館大学生命科学部, ²東京工業大学科学技術創成研究院)

4) 糖質生物学

細菌の細胞外多糖が関与する細胞外膜小胞形成機構

都築大空¹, 今井友也², 川本純¹, 小川拓哉¹, 栗原達夫¹
(¹京都大学・化学研究所, ²京都大学・生存圏研究所)

マウス卵巣癌腹膜播種にともなう C-マンノシル化トリプトファン産生の変化

上條 遼太¹, 中平 悠馬¹, 西川 恵介¹, 橋爪 智大¹, 井内 陽子², 南方 志帆²,
眞鍋 史乃^{3,4}, 井原 義人²

(¹和歌山県立医科大学・医学部・4年, ²和歌山県立医科大学・医学部・生化学,
³星薬科大学・薬学部・機能分子創成, ⁴東北大学大学院薬学研究科・医薬品開発研究センター)

Study on the functional role of glycan quality control system in cancer cells

Ziwei Wang^{1,2}, Hideaki Tahara³ and Yoichiro Harada^{1,2}

(¹Department of Oncology, Graduate School of Medicine, Osaka University., ²Department of Glyco-Oncology and Medical Biochemistry, Research Center, Osaka International Cancer Institute., ³Department of Cancer Drug Discovery and Development, Research Center, Osaka International Cancer Institute.)

がん幹細胞性の制御におけるヒアルロン酸産生の意義の解明

蘆田 紗和子、岩本 駿吾、板野 直樹
(京都産業大学大学院生命科学研究科)

コアフコース特異的レクチン PhoSL は in vitro で B 型肝炎ウイルス感染を阻害する

園田麗華、大内田経徳¹、前田晴香¹、高松真二¹、近藤純平¹、
上田啓次²、三善英知¹
阪大院医・¹生体病態情報科学(分子生化学)、²ウイルス学

双子血清を用いた糖鎖バイオマーカーの評価

¹井上 瞳、¹飛鳥達也、¹森下康一、¹高松真二、¹近藤純平、¹渡邊幹雄、²鎌田佳宏、¹三善英知
(阪大院医 ¹生体病態情報科学、²生体物理工学)

グルクロン酸転移酵素 GlcAT-P 触媒領域近傍へのリン酸化の機能的意義解析

淵 滉明¹、野中 元裕¹、岡 昌吾¹、森瀬 譲二¹
(¹京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

aminopeptidase N に発現する非硫酸化 HNK-1 糖鎖の機能的役割解析

豊田 俊平¹、野中 元裕¹、岡 昌吾¹、森瀬 譲二¹
(¹京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻)

FAM20C 変異によるコンドロイチン硫酸の硫酸化構造変化が骨硬化症の発症に繋がる

小池敏靖¹、三上雅久¹、田村純一²、北川裕之¹
(¹神戸薬科大学薬学部生化学研究室、²鳥取大学農学部生命環境農学科)

Study on the role of N-glycosylation in tumor-to-host interaction via extracellular vesicles

Yang Shi^{1,2}, Yu Mizote³, Yoichiro Harada^{1,2}
(¹Department of Oncology, Graduate School of Medicine, Osaka University, ²Department of Glyco-Oncology and Medical Biochemistry, Research Center, Osaka International Cancer Institute, ³Department of Cancer Drug Discovery and Development, Research Center, Osaka International Cancer Institute)

5) 脂質生物学

●42

H-PGDS 阻害剤による急性膵炎の抑制機構の解析

細見 健太¹, 前原 都有子², 藤森 功¹
(¹大阪医薬大・院薬・病態生化学, ²岩手大・農・比較薬理毒性学)

●43

ACAT 阻害剤は胆管がん細胞の増殖を抑制する

松尾知輝¹, 浦野泰臣¹, 野口範子¹
(¹同志社大学大学院生命医科学研究科)

●44

細胞分泌小胞エクソソームによる膜タンパク質移植と機能制御技術の構築

石飛城慈郎¹, 中瀬朋夏^{2,3}, 中瀬生彦¹
(¹大阪公立大学大学院理学研究科, ²武庫川女子大学薬学部,
³武庫川女大学バイオサイエンス研究所)

●45

ショウジョウバエモデルを用いた吸入麻酔薬の作用機序解明

○松岡岬¹, 村岸康樹¹, 佐和貞治², 亀井加恵子¹
(¹京工繊大・機能物質化学, ²京府医大)

●46

ショウジョウバエ神経細胞における Lipin の機能解析

Yen DH Nguyen¹, ○長藤弘汰¹, 吉田英樹², 亀井加恵子¹
(¹京工繊大・機能物質化学, ²京工繊大・応用生物学)

●47

ホスファチジルイノシトールを flip する P4-ATPase の発見とその細胞内機能

村中 友萌香¹, 重富 亮¹, 岩崎 雄吾², 中山 和久¹, 高津 宏之¹, 申 惠媛¹
(¹京都大学大学院薬学研究科, ²中部大学応用生物学部)

6) 細胞応答

●48

SREBP2 阻害ががん細胞のスタチン感受性に及ぼす影響の解析

入江七海¹, 溝口佳奈¹, 田代二郎², 石川拓郎³, 割田克彦², Oltvai Zoltán N.⁴, 割田友子⁵
(¹関西学院大学大学院 理工学研究科, ²鳥取大学 農学部獣医解剖, ³愛知医科大学 医学部, ⁴ロチェスター大学 医学部, ⁵関西学院大学 生命環境学部)

●49

膜傷害性ペプチドを用いたサイトゾル送達に関する遺伝子の探索

栗山理志、広瀬久昭、川口祥正、二木史朗
(京都大学化学研究所生体機能設計化学領域)

●50

膜傷害性ペプチド修飾多糖と抗体による複合体形成と抗体のサイトゾル送達

道端惇也¹, 佐々木善浩², 秋吉一成², 二木史朗¹
(¹京都大学化学研究所生体機能設計化学領域, ²京都大学大学院工学研究科生体機能高分子研究室)

●51

がん幹細胞性を規定する新たな RNA 結合蛋白質機能制御メカニズムの解明

長船花音^{1,2}, 谷口一郎³, 服部鮎奈^{1,2}, 伊藤貴浩^{1,2}
(¹京都大学大学院薬学研究科, ²京都大学医生物学研究所, ³大阪大学大学院生命機能研究科)

●52

ハイギョ TRPV1 の高温応答性欠除の機構

谷田和仁, 堀翔悟, 齊藤修
(長浜バイオ大学院バイオサイエンス研究科動物分子生物学研究室)

●53

Gemcitabine-resistant pancreatic ductal adenocarcinoma cell line with DCK deletion shows MYC-mediated glutamine and one-carbon pathway dependency

Suman Dash, Takeshi Ueda, Akiyoshi Komuro, Masahiko Honda, Hitoshi Okada
Department of Biochemistry, Kindai University Faculty of Medicine, Japan

5 4

神経変性疾患の原因となる無糖鎖型 Seipin に起因する小胞体ストレスと細胞死の誘導機構

齊藤 峻介¹、石川 時郎¹、蟻川 暁²、岡田 徹也¹、森 和俊¹

(¹ 京都大学大学院理学研究科生物物理学教室 ² 神戸大学バイオシグナル総合研究センター)

5 5

メバロン酸経路を阻害したがん細胞におけるオミクスプロファイルの変化

割田友子¹、入江七海²、溝口佳奈²、田代二朗³、石川拓郎⁴、Oltvai Zoltán N.⁵、割田克彦³

(¹ 関西学院大学生命環境学部, ² 関西学院大学大学院理工学研究科, ³ 鳥取大学農学部獣医解剖, ⁴ 愛知医科大学医学部, ⁵ ロチェスター大学医学部)

5 6

新規 LUBAC 結合タンパク質によるネクロプトーシス制御機構

清水 康平¹、魏 民²、及川 大輔¹、Tran Thi Thuy Linh¹、小迫 英尊³、高橋 宏隆⁴、澤崎 達也⁴、
徳永 文稔¹

(¹ 大阪公立大・院医・医化学, ² 大阪公立大・院医・環境リスク評価学, ³ 徳島大・先端酵素研・藤井節郎記念医科学センター, ⁴ 愛媛大・PROS)

7) シグナル伝達

●57

The developing embryo requires endothelial RhoA for its angiogenesis and survival

Wondwossen Wale Tesega¹, Akio Shimizu¹, Hisakazu Ogita¹

(¹ Division of Molecular Medical Biochemistry, Department of Biochemistry and Molecular Biology, SUMS, Otsu, Japan)

●58

脂肪細胞における MOB1 の機能解析

山口慶子¹、西尾美希¹、湯口勝也¹、大谷淳二¹、前濱朝彦¹、鈴木聡¹

(¹ 神戸大学大学院医学研究科分子細胞生物学分野)

●59

PICT1 安定化因子による核小体ストレスと個体応答

湯口勝也¹、西尾美希¹、大谷淳二¹、山口慶子¹、前濱朝彦¹、鈴木聡¹

(¹ 神戸大学大学院医学研究科分子細胞生物学分野)

●60

N 型糖鎖修飾は EGFR の負の制御因子である LRIG1 の機能を制御する

大山航季¹, 長尾妃万里¹, 南浦朱里¹, 青木秀人¹, 高松真二¹, 近藤純平¹, 三善英知¹
(¹大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体病態情報科学講座分子生化学教室)

●61

ブレバチルス菌で分泌発現したときに得られるカイコガ PTH の二種類の組換え体

田頭吉之助, 石垣悠里, 森藤美帆, 岡田歩実, 小松侑記, 平田康祐, 兒島憲二, 齋藤一樹
(姫路獨協大学薬学部生物分析化学研究室)

●62

リガンド刺激に伴うチロシンキナーゼ型レセプターTorso 活性化の検出

森藤美帆, 兒島憲二, 石垣悠里, 福田雅, 谷口慶樹, 齋藤一樹
(姫路獨協大学薬学部生物分析化学研究室)

8) 細胞周期・発生

●63

脱 SUMO 化酵素 DES11 の細胞分裂における機能解析

池田 有紀¹, 幸 龍三郎¹, 齊藤 洋平¹, 中山 祐治¹
(¹京都薬大)

●64

ヒト iPS 細胞から肝類洞内皮前駆細胞への効率的な分化誘導法の開発

細田千裕¹ 三谷成二¹ 小野寺悠¹ 嶋緑倫² 辰巳公平¹
(¹奈良県立医科大学 血栓止血先端医学講座, ²奈良県立医科大学 血栓止血研究センター)

●65

simvastatin 処理による細胞分裂への影響

田中 潤奈¹, 天野 多詠¹, 幸 龍三郎¹, 齊藤 洋平¹, 中山 祐治¹
(¹京都薬科大学 生化学)

66

擬似的な細胞質分裂への誘導とプロテオミクス解析による EphA2 の機能解析

長谷川七海¹, 北郷真由絵¹, 中山祐治¹
(¹ 京都薬大)

67

低分子量 G タンパク質 RhoG による細胞分裂制御

栞島 弘喜¹, 安武隆司¹, 海堀 祐一郎¹, 中山 祐治¹
(¹ 京都薬大)

68

Sphaerocoryne affinis fruit extract causes DNA damage leading to inhibited cell proliferation and activated apoptosis in cervical cancer cells

Nghia Le-Trung¹, [○]Duong Minh Tue¹, Thao Thi Phuong Dang² and Kaeko Kamei¹
(¹Dept. Funct. Chem., Kyoto Inst. Tech.,
²Lab. Mol. Biotech., Fac. Biol. Biotech., Univ. Sc., Viet. Natl. Univ. H.C.M.)

9) 遺伝情報・発現

69

RNA-seq 解析によるキンギョ品種を用いた鱗形成メカニズムの理解

松本沙織¹, 黄一丞¹, 湯瑞¹, 伏木宗一郎¹, 大森義裕¹
(¹ 長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科ゲノム機能科学研究室)

70

転写因子 Nrf3 はオートファジーを介してがん細胞の MHC-I を分解する

温品美綺¹, 和田恵佳¹, 明田伊鳳¹, 廣瀬修平¹, 和久剛², 小林聡^{1,2}
(¹ 同志社大学大学院 生命医科学研究科 医生命システム専攻
² 同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科)

71

化学修飾人工 mRNA からの翻訳を促進する RNA モチーフの探索

井藤 郁弥^{1,2}, 吉井 達之¹, 大野 博久¹, 齊藤 博英¹
(¹ 京都大学 iPS 細胞研究所, ² 京都大学大学院医学研究科)

72

膵臓の腫瘍悪性化機構の解明に向けた転写因子 NRF3 の機能解析

佐藤克哉¹、山元康平²、○佐藤 健¹、道原琢登¹、浅野太我¹、河合穂高³、江口傑徳³、
松本光代⁴、五十嵐和彦⁴、和久 剛²、小林 聡^{1,2}
(¹同志社大学大学院 生命医科学研究科 医生命システム専攻、²同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科、³岡山大学 学術研究院医歯薬学域 歯科薬理学分野、⁴東北大学大学院 医学研究科 生物化学)

73

宿主動物由来グリコサミノグリカンの代謝に関わる細菌オペロンの形成

西村 優，老木 紗予子，橋本 渉
(京都大学大学院農学研究科食品生物科学専攻)

74

システインクラスターを有する核様体構成タンパク質 YlxR の生化学的解析

川口大輝，増井良治
(大阪公大・院理・生物)

75

Long range PCR を用いたロングリードシーケンシングのフェージング攻略法

樋口（江浦）由佳¹，叶盛¹，松本雅則²，小亀浩市¹
(¹国立循環器病研究センター・分子病態部，²奈良県立医科大学・輸血部・血液内科)

10) 神経科学

76

演題名：有尾両生類と TRPA1 チャネルの高温応答性

新谷祐生，堀翔悟，齊藤修
(長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科)

77

メダカの海水順応能力と 2 分子種の TRPV1

小西 吟知，薮下 齊央，浅野 麻己子，堀 翔悟，竹花 佑介，齊藤 修
(長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科)

78

分泌型シナプス形成因子 Pikachurin に着目した網膜視細胞のシナプス可塑性の探索

炭廣仁志^{1,2,3,4}、Tu Hung-Ya^{1,2,3,4}、古川貴久^{1,2,3,4}

(¹大阪大学蛋白質研究所分子発生学研究室、²AMED-CREST、³JST ムーンショット、⁴JST 共創の場)

79

類古典型エーラス・ダンロス症候群の疼痛へのマクロファージの関与

江村孝介¹、井尻瑠南²、山本陸斗¹、鎌田浩輝¹、松本健一³、芦高恵美子^{1,2}

(¹大阪工大院工化学・環境・生命工学、²大阪工大工生命工学、³島根大総科支セ生体情報・RI)

80

神経細胞軸索起始部における微小管束化の役割解明に向けて

酒井宥璃¹、御園生裕明¹

(¹同志社大学脳科学研究科チャンネル病態生理部門)

81

網膜におけるアンキリンリピート蛋白質 Panky と Panky-like の生体機能の解析

道川佳世子¹、行天大智¹、Tu Hung-Ya¹、梶村直子²、炭廣仁志¹、茶屋太郎¹、古川貴久¹

(¹大阪大学、蛋白質研究所、分子発生学研究室 AMED-CREST, JST MS, JST COI-NEXT、²大阪大学超
高圧電子顕微鏡センター)

82

侵害センサーTRPV1 の高温感受性を決定する四肢動物共通のメカニズム

堀 翔悟¹、立山 充博²、白井 剛¹、久保 義弘²、齊藤 修¹

(¹長浜バイオ大学バイオサイエンス、²生理学研究所 神経機能素子研究部門)

11) 免疫・感染症

83

Employing static electric machine to suppress the progression of diabetic kidney disease by
minimizing type 2 diabetes-induced oxidative stress

Le Kim Chi Nguyen¹, Akio Shimizu¹, Akira Sato¹, Hisakazu Ogita¹

(¹Division of Molecular Medical Biochemistry, Shiga University of Medical Science)

84

非特異的結合を抑えた VHH 抗体ライブラリーの構築と
抗 VEGF 鏡像 VHH 抗体の探索

前田佳夕¹, 青木啓輔², 大野浩章², 森瀬譲二¹, 岡昌吾¹, 大石真也³, 野中元裕¹
(¹ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 分子生命基礎医療科学,
² 京都大学大学院薬学研究科 創薬有機化学, ³ 京都薬科大学 創薬科学系 薬品化学)

85

キクカの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導を抑制する成分の探索

南阪啓太¹, Li Chen¹, 白子紗希¹, 川村晃久², 池谷幸信^{3,4}, 西澤幹雄¹,
(¹ 立命館大・生命・医化学, ² 立命館大・生命・幹細胞再生医学, ³ 第一薬科大, ⁴ 立命館アジア・日本研究所)

86

初代培養肝細胞におけるサンヤクの一酸化窒素誘導抑制効果と成分探索

高安果穂¹, 白子紗希¹, 富田健愛², 川村晃久³, 池谷幸信^{4,5}, 西澤幹雄¹
(¹ 立命館大・生命・医化学, ² (株) 九千部, ³ 立命館大・生命・幹細胞再生医学, ⁴ 第一薬科大, ⁵ 立命館アジア・日本研究所)

87

腫瘍微小環境における
Mac-2bp (Mac-2 binding protein) の
生物学的機能の解明

太田陽代里¹, 西村陸大¹, 小松未稀¹, 高松真二¹, 近藤純平¹, 三善英知¹
(¹ 大阪大学大学院医学系研究科 生体病態情報科学講座)

88

組織常在性マクロファージによる変異細胞の認識メカニズムの解析

田邊駿弥, 梶田美穂子, 白壁恭子
(立命館大学大学院生命科学研究科)

89

耐性菌感染症の克服に向けた薬剤排出ポンプ阻害剤の結合部位解析

山崎聖司^{1,2,3}, 古閑修輝², Martijn Zwama³, 櫻井啓介³, 中島良介³, 山口明人³, 西野邦彦^{2,3,4}
(¹ 大阪大学 高等共創研究院, ² 大阪大学大学院 薬学研究科,
³ 大阪大学 産業科学研究所, ⁴ 大阪大学 感染症総合教育研究拠点)

12) 疾患生物学

●90

Afadin-mediated regulation of vascular smooth muscle cell contraction via the Gq-phospholipase C β axis to enhance calcium signaling.

Md Mahbubur Rahman Khan¹, Akira Sato¹, Akio Shimizu¹, Md Rasel Molla¹, Hisakazu Ogita¹
(¹ Division of Molecular Medical Biochemistry, Department of Biochemistry and Molecular Biology, Shiga University of Medical Science)

●91

家族性 ALS 原因タンパク質である SOD1 の細胞内凝集に寄与するアミノ酸残基の同定

浅井新喜, 矢埜杏果, 東野智行, 吉原大作, 江口裕伸, 鈴木敬一郎, 藤原範子
(兵庫医科大学・医学部・生化学講座)

●92

家族性 ALS 原因タンパク質 SOD1 のアミロイド化配列と細胞内凝集形成配列の比較

矢埜杏果, 浅井新喜, 東野智行, 吉原大作, 江口裕伸, 崎山晴彦, 鈴木敬一郎, 藤原範子
(兵庫医科大学・医学部・生化学講座)

●93

血清濃度変化による乳がん細胞遊走への影響と膜透過性ペプチドを用いた薬物送達応用

荒木優里奈¹, 萩原将也², 藤原大佑¹, 道上雅孝¹, 藤井郁雄¹, 中瀬朋夏^{3,4}, 中瀬生彦¹
(¹ 大阪公立大学大学院理学研究科, ² 理化学研究所 理研白眉研究チーム,
³ 武庫川女子大学薬学部, ⁴ 武庫川女子大学バイオサイエンス研究所)

●94

Enterococcus faecalis の腸管上皮細胞への接着に関わる因子の探索

藤山紫結¹, 下坂宗史¹, 高松真二¹, 園田麻美香¹, 井上瞳¹, 近藤純平¹, 鎌田佳宏², 江口英利³,
三善英知¹
(¹ 大阪大学大学院医学系研究科生体病態情報学, ² 大阪大学大学院医学系研究科生体物理学, ³ 大阪大学大学院医学系研究科消化器外科)

●95

カルマン症候群患者由来新規 FGFR1 変異が GnRH ニューロンの遊走能に及ぼす影響

利一 裕理子¹, 酒谷 紬¹, 上野 信洋¹, 清水 昭男², 佐藤 直子³, 板野 直樹¹,
瀬尾 美鈴¹
(¹ 京都産業大学生命科学研究科, ² 滋賀医科大学医学部, ³ 東京大学医学部附属病院)

●96

カルマン症候群患者由来 FGFR1 変異の神経軸索伸長に及ぼす影響

酒谷 紬¹, 利一 裕理子¹, 上野 信洋¹, 清水 昭男², 佐藤 直子³, 西野 佳以¹, 瀬尾 美鈴¹
(¹京都産業大学生命科学研究科, ²滋賀医科大学医学部, ³東京大学医学部附属病院)

●97

三次元培養膵臓がん細胞株における解糖系酵素の発現解析

太田妃奈美, 小池もも, 立花太郎, 横山智哉子
(大阪公立大学大学院 工学研究科 物質化学生命系専攻 化学バイオ工学分野)

●98

HIF-1 α 安定化に着目した抗がん剤が誘導する酸化ストレスの解析

白石望実, 立花太郎, 横山智哉子
(大阪公立大学大学院 工学研究科 物質化学生命系専攻 化学バイオ工学分野)

●99

ドクカツの成分探索および初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する効果

田中里沙¹, 岡崎飛鳥¹, 白子紗希¹, 川村晃久², 池谷幸信¹, 西澤幹雄¹
(¹立命館大・生命・医化学, ²立命館・生命・肝細胞再生医学)

●100

初代培養肝細胞において一酸化窒素誘導抑制作用のあるビャクジュツの主要成分の探索

齋藤要祐¹, 小永吉琴美¹, 白子紗希¹, 川村晃久², 池谷幸信^{3,4}, 西澤幹雄¹
(¹立命館大・生命・医化学, ²立命館大・生命・幹細胞・再生医学, ³第一薬科, ⁴立命館アジア・日本研究所)

101

肥満によるエストロゲン受容体陽性乳癌の Tamoxifen 耐性獲得機構の解明

中辻 匡俊¹, 藤森 功¹
(¹大阪医薬大・薬・病態生化学)

102

SMA モデル細胞の作製を通した SMN の機能の検討：ヒト神経芽腫細胞株 SK-N-BE(2)-C
における検討

香山賢一¹，田畑裕幸¹，通山由美¹
(¹姫路獨協大学・薬学部・生化学研究室)

13) 高校生発表

●103

人が数える時代はもう終わり！

久保田知弥¹，北条壮大¹，山本寛太¹，小川輝流亜¹
(¹兵庫県立小野高等学校科学探究科画像認識班)

●104

クロモジのホルムアルデヒドに対する有効性
～シックハウス症候群の改善を目指して～

植田彩花¹，穂波佑成¹，福本鈴¹，松永卓也¹，上野玲²，田中龍之介²，西本祐毅²，松尾楓²
(¹兵庫県立小野高等学校科学探究科3年，²兵庫県立小野高等学校科学探究科2年)

●105

スミレ属，ミヤマスミレ節の関係に迫る！

植田彩花¹，川本一颯¹，平島柑奈²，西角心香²，檜作慎心²，藤井鳳綺²，
(¹兵庫県立小野高等学校生物部スミレ班3年，²兵庫県立小野高等学校生物部スミレ班2年)

●106

ヤマトマナにおける温湯処理によるクロロフィル増加と食塩水栽培による低カリウム化

中川 咲良¹, 乾 琴乃¹, 藤原 琉星¹, 松嶋 奈央¹
(¹ 奈良県立青翔中学校・高等学校)

●107

自作風洞装置を用いた翼の形状における揚力の比較
～持続可能な社会に飛行機を飛ばしたい！～

吉田悠良、吉川瑤良、当广亮太
(奈良県立奈良北高等学校)

●108

ナメクジの学習行動における学習時間の効果
～勉強時間は長いほうが良い？～

小澤明弘, 北川誠也
(奈良県立奈良北高等学校)

●109

菌・細菌で一攫千菌！
～油脂生産菌の探索に関する研究～

藤田愛花、綿谷陽花、山崎僚子、清水千楓、田中秀和、野津光志
(奈良県立奈良北高等学校)